

香教連サポート体制

香教連弁護士相談制度

香教連を通じて、平井法律事務所(高松市丸の内)で無料の相談ができます。

さらに、必要があれば弁護士と面談ができます。
(相談は無料)

香教連生命共済制度

(会員名簿に詳細を記載します。)

- 結婚 5000円
- 病気・けが 10000円
(3週間以上の入院・自宅療養)
- 家屋損壊(地震の場合を除く) 100000円(全壊)
50000円(半壊)
- 広域人事転居援助金 10000円
- 死亡弔慰金・高度障害見舞金 450000円
(実績、支給金額は毎年変動します。)

他にも「私費による研修参加補助」等皆様をサポートします。

詳しくは香教連事務局まで
TEL 087-835-2721 FAX 087-835-2723

交通事故等相談窓口

中澤ほけん企画(三井住友海上担当 中澤篤史氏)が交通事故・自動車保険の相談に応じます。
(他社保険加入者でも相談に応じます。)

全日教連積立年金制度

予定利率1.26%+配当金(令和3年度)という高い利率です。
1口1000円(月掛け)より、契約できます。
(ボーナス時は1口10000円より)
年に2回積立金(口数)変更可能。

全日教連訴訟費用保険制度

月額380円の掛け金で、教師が民事訴訟の被害者となった場合の弁護士費用500万円、損害賠償請求3000万円まで補償します。

全日教連訴訟費用保険制度

月額約6000円の掛け金で、病気やけがで働けなくなった場合の収入の減少を、長期にわたってカバーします。
働けなくなった時の生活費・家賃・ローンのために。

会員の声

昨年度は皆様から「会員の声」にたくさんの御意見が寄せられました。ありがとうございます。本年度も、先生方の生の声をお届け下さい。皆様の声を元に国・県・市町への要望内容に組み込み、きちんと届けてまいります。学校現場の直面している課題として、なんでもかまいません。御意見をいただきたいと思っております。

下のQRコードを読み取って、所属校、名前、感想・御意見を記入して送信して下さい。応募して下さいの方の中から抽選で図書カードを外れた方は書籍をプレゼントいたします。下のメールアドレスに直接メールしても大丈夫です。



メールアドレス: kakyoren2021@gmail.com

香教連会費について

毎月の香教連共済の中から、引き落としさせていただきます。定期大会や中央評議委員会、報告させていただきます。様々な要望活動や資質向上のための研修活動、先生方の福利厚生活動等を更に充実させてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



3 すこやかな体をはぐくむ教育の推進事業【711万円】

- ①体力づくり活動推進事業(462万円) ・「さぬきっ子チャレンジカード」の全県展開
- ②学校における給食・食育事業(48万円)
- ③公立小学校運動場等芝生化事業(200万円) ・運動部活動指導者研修会の開催

4 元気で安心できる学校づくり事業【1億2124万円】

- ①優れた教員の確保と資質・能力の向上事業(2297万円)
 - ・「かがわで先生！」志願者アップ事業(415万円)
 - ・学校教育力向上支援事業(1881万円)
若年教員等の授業改善や学習指導、生徒指導の支援のため各小・中学校に退職教職員を派遣
- ②教職員の働き方改革推進事業(9369万円)
 - ・教職員の働き方改革推進事業(40万円)
助言・指導を受けるためのアドバイザーを招へい
 - ・教員業務支援員配置事業(5502万円)
学習プリント等の準備や採点業務、来客電話対応など、教員をサポートする教員業務支援員を配置する市町に対し、経費の一部を補助
 - ・部活動指導員配置促進事業(1030万円)
部活動を指導員を配置する市町に対し支援を行う
 - ・部活動改革推進事業(2095万円)
香川県における地域移行等の推進(445万円)
部活動の地域移行等に向けた実証事業(1650万円)
 - ・総務事務システムモデル実証事業(258万円)
県とモデル市町教育委員会においてネットワークを構築し、総務事務システムの実証実験を実施



項目は全てを記載していません。↑
詳しくは香川県のHPをご覧ください。↑

*文字がブルーの部分は今年度から新しく予算化されたものです。

香川県の令和5年度の当初予算案では教育委員会予算として約880億円が計上されている。昨年度に引き続き「香川型指導体制の推進」として小・中学校全学年における35人学級の実施や小学校高学年における教科担任制の拡充が盛り込まれたほか、「教職員の働き方改革推進事業」として教員業務支援員や部活動指導員の配置支援の予算も増額が図られている。

新規事業としては、「ICT活用教育推進事業」としてGIGAスクール運営支援センターの整備が盛り込まれたほか、「部活動改革推進事業」として中学校の休日部活動の地域移行に向けた体制整備や「幼児教育総合支援事業」として幼児教育支援センターの設置等が新たに加わっている。

香教連は今年度も県の教育施策を精査し、教職員が心身共に健康で充実した教育活動の行える環境、子どもたちが生き生きと学ぶことのできる環境の実現に向けて要望活動を展開していく。また国においても給特法の見直しを含めた教職員の処遇や勤務の在り方につ

いての議論が進められている中、給与を始めとする教職員の待遇改善についても全日教連と連携しながら粘り強く要望を行っていく。

専従職場訪問活動

昨年度、香教連事務局は各単組の評議員会・定期総会等に参加させていただき、会員の皆様の声を聞かせていただきました。さらに、より多くの会員の方々の声を聞かせていただくために、県内各地への専従の職場訪問を計画しています。専従の職場訪問は、専従の先生方の声や勤務状況、勤務上の悩みや事務局への要望等、会員の皆様からの生の御意見・ご要望をいただけたらと思っております。また香教連活動を深く理解していただくために、行事や研修、福利厚生等についてお話しさせていただこうと思っております。組織拡大に向け、積極的に活動していき、協力をお願いしたいと思います。

TEL 087-835-2721

FAX 087-835-2723



3月 業務抄

- 3日 大川教協 丸教協 評議員会
- 4日 第2回採用試験対策部研修会
- 23日 人事異動発表
高学協 役員会
- 25日 第6回 会長局長会
- 27日 丸教協 評議員会

採用試験対策部研修会のお知らせ

各学校の講師の先生方で、この夏採用試験を受けられる方にお知らせ下さい!詳しくは、今月配布したチラシ・香教連HPに詳しく掲載しています。

- 第3回採用試験対策部研修会
- 日時 令和5年4月29日(日) 8:30~12:00
- 場所 香川県教育会館2F
- 内容 講義(心構えや今年の試験の制度内容や変更点等について) 時事通信社模擬試験(教職・一般・専門)
- *自家用車での来場も大丈夫です。
- 第4回は5月27日(土)の予定です。



特別じゃない特別支援教育を⑩
がまぐち先生
新年度最初は「熱心な無理解者」についてです。この言葉は、児童精神科医であった故・佐々木正美先生の造語です。特別支援教育や障害のある子どもの背景について「無理解・誤解・理解不足」な状態にもかかわらず、熱心とされるくらいに、その子のふるまいを、直す・変えられる・直す・ことを目的とした積極的な指導をくり返し、かえって当事者である子どもの状態を悪化させてしまう人のことを言います。
子どもの不得意な分野を無理矢理直そうとしたり、苦手分野の宿題をくり返し出し続けたりして、結果的に不登校などの二次障害を引き起こすきっかけを作ってしまう。感じの苦手な子や九九の苦手な子にただたくさん練習させようという指導をしてしまうのです。「難聴の子どもによく聴きなさい。」「視覚障害の子どもによく見なさい。」「指導するのと同じということに気が付かないのです。
ですから、困ったことに自身の誤った教育観を振り返ることもなく、根拠のない自分の思いだけが独り歩きして、自らの関わりが善意による正しいものであると信じて疑いません。
こうした「熱心な無理解者」が、自分の信念や教育観だけを根拠に「子どもの将来を思っている」「今のうちになんとかしておかなければ」といった使命感で熱い指導を行ってしまえば、それは、やはりそれは「名目上は指導であつても、その実体は、教室マルチリトメント」であると言っても過言ではないでしょう。特に、心理的虐待やネグレクトに類似した関わりは処分の対象になっていないが故に、抜け道になってきた部分であると言えるのではないのでしょうか。
特に、「罰や脅し」を用いた指導は、とても無自覚に多く行われています。
子ども自身の内省能力に基づかない反省文を書かせる指導、指導すべき内容と無関係な校庭のランニング、罰漢字、罰掃除などが、あつかも「指導」の名の下に行われていないのでしょうか。
様々な特性や環境・育ちをしてきた子どもの実態や願いを把握し子どもの自己肯定感を損なわない指導を工夫できるのが教員としての専門性ではないかと思っております。